

朗報! 関東都県の1次試験が、例年よりも1週間遅く、7月14日(日)になりました!

今年度受験学生諸君!

1次試験まであと70日(91日-教育実習21日)です!

さあ、いよいよ最終コーナーを回った感じですね。これまでに論文添削や面接練習、集団討論練習や模擬授業を行ってきましたが、諸君の進化には目を見張るものがあります。論文も面接も模擬授業も慣れが必要です。諸君には、教員採用試験に合格するだけの実力が十分あります。あとは、それらを試験当日に発揮するために繰り返し練習し、慣れることが大切です。論文添削は、いつでも受け付けています。面接練習は7月にも行います。1次試験に合格した人には、8月上旬に直前面接練習も予定しています。全員がここまで来られるよう、今から頑張ってください。諸君の教員採用試験に対する意欲は、とっても素晴らしいです! 全員合格を期待しています!

<教育実習に向けて>

① 教育実習中は、正方形の大きな付箋を毎日必ずポケットに入れておきましょう!

教育実習は、採用試験に向けた材料の宝庫です。毎日の授業準備、生徒対応、先輩教員からのアドバイスなど、その全てが論文や面接で使えるものばかりです。忘れてしまわないように、教育実習中は正方形の大きな付箋を毎日ポケットに入れておきましょう。気付いたことがあれば、すぐにその場でメモします。そして、書いた付箋をそのままノートに貼っておきます。清書する必要はありません。そのノートが、ネタ帳になります。

② 実習校へのお礼状の書き方

これについては、裏面にまとめました。教育実習に行く前に読んでおいてください。

③ 教育実習後から教員採用試験までの過ごし方

これも裏面に書きました。教育実習が終わるまでに見ておいてください。

【お知らせ】

(1) 実施報告 個人面接練習Ⅱ: 22回 延71人、集団討論練習: 12回 延28人、模擬授業: 5回 延17人

(2) 昨年度1年間の論文添削枚数: 2018年4月3日~2019年3月29日の間に403枚の添削をしました。書いた人は25人です。みんなよく頑張って書いてくれました。ほぼ全員が合格ラインです。

(3) 今年教員として就職した人数(教職課程センター小金井相談室来室者28人中): 4/1時点

種別	公立学校				私立学校		教職大学院 進学	計
	正規採用	(期限付合格)	臨時的任用教員	非常勤講師	専任・常勤	非常勤講師		
数学	2	(2)	2	2	3	1	(1)	10 (3)
理科	2	(1)	1	1	2	2	(0)	8 (1)
特支	1	(0)	0	0	0	0	(0)	1 (0)
計	5	(3)	3	3	5	3	(1)	19 (4)

(4) 4月からのメールによる論文添削及び相談等について

昨年度のメールによる論文添削及び相談等は、1年間で288件でした。これらは全て相談指導員自宅等で行った無償のボランティアでした。そこで、働き方改革の観点から、4月からは「メールによる相談等及び論文添削依頼は、原則として卒業生を対象とする」と変更します。ご協力よろしくお願ひします。在校生は、相談室に来てください。ただし、在校生(学部生・大学院生)であっても、締切間近の書類添削や進路に関する相談など、緊急性を要するものについてはメールでも構いません。

(5) 教員採用試験ガイダンス

- ・4月17日(水) 12:40~13:10 会場:W204 屋食持参可、ガイダンス中に食事可、事前申込不要
- ・2020年度以降の教員採用試験を受験する3・2・1年生、大学院生が対象です。
- ・「教員採用試験の概要」「対策の仕方」「教職課程センター主催の各種講習の案内」などについて説明します。
- ・このガイダンスに参加することで、合格への第一歩が始まります。是非参加してください!



【教育実習後から1次試験日(7/14)までの過ごし方】

- ★ 今月は、皆さんが教育実習に行く前に知っておいた方がよいと思われる情報を載せました。
- ★ この時期は、直前の極めて大切な時期です。これまでの勉強の成果を十分に発揮できるよう、下記を参考にしてください。

《教育実習を終えてからの1週間》

一日も早く教育実習の疲れをとることが大切ですが、この期間に必ずしなければならないことは、**実習校へのお礼状の送付**です。持参がベストですが、教員採用試験直前のこの時期は時間ももったいないので、郵送でも仕方ありません。そこで、礼状を書く際の留意点を記しておきます。

【礼状を書くに当たって】

- 「校長」と「指導教員及びその他の教員」に対して別々に礼状を書く方が無難です。どうしても1枚で済ませたいときは校長宛とし、文末に「ご指導していただいた○○先生他関係の先生方にもよろしくお伝えくださいませ。」と書きます。校長に出さずに指導教員等だけに出すことのないよう気を付けてください。たいていの学校では、実習生からの礼状は付箋を付けて校長を始め全教員で回覧します。くれぐれも校長や先生方に失礼のないようにしてください。失礼な礼状を送ってしまうと、皆さん本人だけでなく、法政大学が信頼も失ってしまいます。
- ワープロではなく、便せんに手書きで書いてください。これも相手に失礼にならないためです。
- 礼状の内容は、概ね次の通りです。書き出しと末尾は「拝啓→敬具」又は「前略→草々」です。
 - ① 実習をさせていただいたことに対する感謝の気持ち。
 - ② 生徒や先生方から学んだこと。(具体的な生徒の様子を書くともよいでしょう。)
 - ③ 学んだことを教員になったら(今後)どのように生かしたいか。
 - ④ 教員としての決意。(教員採用試験に向けた意気込みなら更によいです。)



こんなところにも「論例策」の練習が役に立ちますね。論文のような「テアル体」ではなく「テス・マス体」で書きますが、しっかりと決意を示し、実習生として受け入れてよかったと思ってもらえることが大切です。今年教員採用試験を受けない人は、「受験を検討中」という立場で書いてください。

- できれば、1次試験が終わったところにアポを取って、手土産でも持って実習校に挨拶に行くといいでしょう。そのときは真っ先に校長室へ。次に職員室にいる副校長、そして指導教員等という順番を守ってください。ヒエラルキー(階層)を重んじるのは、社会人としての常識です。
- 2次試験の結果も知らせるのが仁義というものです。先生方は、皆さんの合否を心配しているのです。

《1次試験2週間前から前日までに行うこと》

論文を書くのも筆記試験の勉強をするのも6月30日までです。7月1日から7月13日(前日)までは、今までに書いた論文やノートを読み返し、確認するときです。これをしないで前日まで論文を書いたり、筆記試験の問題を解いていたりすると当日実力が出せません。以下、前日までに行うべきことを書きます。

＜論文＞

- 今までに添削された論文をNo.1から順に読み返します。どこをどう指導されたのか、その理由は何かなど、論文の余白や評価票に書いてあるコメント等を見ながら復習していきます。この作業は、自分の書いた論文がどれだけ合格論文に近付いてきたのかを自覚することにもなります。まさに、セルフ・エスティーム(自己肯定感)を高め、自信をもって試験に臨めるわけです。論文の練習回数が多い人は少ない人よりも圧倒的に有利ですが、少ないからと言ってあきらめる必要はありません。「合格論文書き方講習」でも話しましたが、「論例策」の書き方は、どんな問題にも対応できるのです。たとえ練習量は少なくても、練習した分で学んだことを生かして論文試験と闘ってください。大丈夫です。きょうまくいきます。

＜教職教養・専門教養・一般教養等＞

- これらも論文同様、**7月になったら新しい問題を解くことはしないようにします。**それよりも、今まで勉強したことが試験当日に十分発揮できることを目指し、しっかりと読み返します。
- 教育法規講習や学習指導要領講習で学んだことも復習しておいてください。小中高を問わず、新学習指導要領がねらい目です。「主体的・対話的で深い学び(学習の質的改善)」「社会に開かれた教育課程(千鳥学校)」「カリキュラム・マネジメント(PDCA)」「(教科を)学ぶことの意義」「学びの地図(3つ)」「数学的活動」「数学的な(科学的な)見方・考え方」などの重要事項をしっかりと復習してください。

《1次試験前日に行うこと》

- 特にありません。よく眠ること。興奮して眠れなくても、目をつぶって静かにしているだけで疲れは取れます。念のため、生ものは避けたい方がいりかもしれません。当日おなかか緩くなったら大変ですから。

《1次試験後に行うこと》3日以内に論文の復元答案をワープロで作成して、メールで提出してください!